

【資料1について 説明要旨】

資料1について、取組状況を具体的に記載いたしましたので、併せてご確認ください。

「東区生活交通改善プラン」

第6章 東区の具体的な交通施策（P16～P17）

（1）公共交通機関の連携強化

取組項目	説明要旨
①越後石山駅の 接続環境改善	越後石山駅西口広場へのアクセス道路の整備に向け、用地交渉を継続して実施しています。
②駅舎のバリア フリー化	<p>大形駅については、具体的な協議や調査には至りませんでした。越後石山駅について、令和2年度から予算化し鉄道事業者との協議及び調査を行っています。</p> <p>また、昨年度に引き続き、令和2年12月に県内市町村等で構成する新潟県鉄道整備促進協議会から、JR東日本新潟支社あてに「利便性向上等に関する要望書」を提出しました。要望書中、「鉄道駅等のバリアフリー化の促進について」として継続要望しています。</p>

（2）区内及び市中心部への移動に関する利便性の向上

取組項目	説明要旨
①区バスの運行	<p>東区バスの年間延べ利用者数は、目標値に比較して、<u>河渡ルートで約22%、松崎ルートで約27%下回ると見込まれます。</u>新型コロナウイルス感染症の影響により、4～5月の利用者数は前年比約47%減となるなど、緊急事態宣言が発出され、外出が控えられたことにより大きく低迷しました。6月以降は前年比約15～22%減で推移しています。</p> <p>東区だより等を用いた広報や、沿線の県立新潟東高等学校へのチラシの配布、東区自治協議会提案事業として「東区バスおでかけマップ」を作成するなど、区バスの利用促進のための普及啓発を実施しました。</p> <p>また、感染症対策として、啓発ポスターの掲示のほか、12月には区バス車内への抗菌加工を施工しました。令和3年度には、<u>車内換気システムを備えた小型ノンステップバスへの導入（松崎ルート）</u>を予定しており、安心して区バスを利用いただけるよう、引き続き利便性の向上に取り組んでいきます。</p>

取組項目	説明要旨
②地域の移動ニーズに対応した交通手段の検討	<p>区民の移動状況及び課題を分析し、区バスの運行ルート見直しの必要性等を整理するため、令和2年度東区自治協議会提案事業として、<u>「東区バス路線見直しに向けた現状分析業務委託」</u>を実施しました。</p> <p>人口分布や人の移動に関するデータに基づいた、現在の区バスの利用状況や課題の分析結果を踏まえ、利用者のニーズや今後のまちづくりの方向性に沿った区バスの運行を検討していきます。</p> <p>また、令和2年9月に<u>東区自治協議会委員と区長との公共交通に関する意見交換会</u>を開催しました。区バスの運行に関する意見のほか、高齢化に伴う地域が抱える生活交通に関する課題等について意見が交わされました。</p> <p>そのほか、地域が開催する移動支援に関する勉強会に区健康福祉課、東区社会福祉協議会とともに出席しました。今後も関係部署間で情報共有しながら連携を図ります。</p>
③バス利用環境の整備	<p>令和2年9月に東区自治協議会から「東区バスの運行に関する要望書」が提出されました。要望内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東区バスへの小型ノンステップバス車両の早期導入</li> <li>・「シニア半わり」制度の継続実施</li> </ul> <p>小型ノンステップバスの導入については、令和2年度中の導入は実現しなかったものの、令和2年度新潟市一般会計補正予算（令和3年2月議会定例会）において、<u>コロナ禍に対応した車内換気システムを備えた小型ノンステップバス導入に係る予算が承認され、令和3年度中に松崎ルートに2台導入の見込みとなり、車両入替に向けた準備を進めています。</u></p>

### (3) 自家用車から公共交通への転換の促進

取組項目	説明要旨
①地域との協働による公共交通の利用促進	<p>東区だよりを用いて区バスの利用を促進するための広報を行いました。区バス運行情報の特集や、シニア半わり、子どもワンコインバス、区バスへの広告募集等に関する<u>記事を計6回掲載しました。</u></p> <p>併せて、区役所内の市政情報モニターによる広報も実施しました。</p> <p>また、地域や関係者等と協働したPR活動として、令和2年度東区自治協議会提案事業で<u>「東区バスおでかけマップ」</u>を作成しました。区バスや区内の魅力スポットをPRするとともに、「自動車に頼らない生活」を啓発する内容としており、区内の公共施設のほか、区バス車内や金融機関等でも配布することとしました。</p>